

人文科学研究所研究叢書

80. 『幻想的存在の東西 古代から現代まで』

2024年2月20日発行

渡邊 浩司 編著 中央大学出版部発行

定価 6,100円 (税別)

ISBN 978-4-8057-5363-7

目次	
まえがき	渡邊 浩司
第一部 神話の世界（1） —ヨーロッパ—	
ギリシア神話の怪物 —ヘシオドス『神統記』におけるテュポエウスとガイア—	西村 賀子
二股のセイレーンの図像形成に関する一試論 —スキュラの影響を中心に—	尾形 希和子
ソシュールの伝説・神話研究における幻想的存在	金澤 忠信
第二部 神話の世界（2） —日本—	
山姥と赤い怪童 —金太郎—	古川 のり子
女神の系譜 —イザナミ・アマテラス・コノハナノサクヤビメ・カグヤヒメ—	福 寛美
鉢かづき —日本のシンデレラ—	フィリップ・ヴァルテル (渡邊 浩司 訳)
第三部 文学の世界（1） —中世・ルネサンス—	
ウェールズ伝承における「ブリテン島」の幻獣・異人譚	森野 聡子
モルガースからマドワースへ —『クラリスとラリス』における妖精像—	渡邊 浩司
フランス・ルネサンス詩人ロンサールの霊鬼	相田 淑子
『今昔物語集』における私的で個人的な男女間の怪異譚	中根 千絵
第四部 文学の世界（2） —近現代—	
現実の中の幻想、幻想の中の現実 —フリードリヒ・シラー『招霊術師』補完策と模倣策通覧—	亀井 伸治
F・ソログープ『毒の園』における「毒」の美女の正体	安島 里奈
来るべきメリュジース —アンドレ・ブルトンの『秘法十七』—	前之園 望
ユダヤ人共同体の守護者からスーパーヒーローへ —マイケル・シェイボン『カヴァリエ&クレイの驚くべき冒険』におけるゴーレム表象—	近藤 まりあ
モルガースからマドワースへ —『クラリスとラリス』における妖精像—	渡邊 浩司
第五部 フォークロアの世界 —ヨーロッパ—	
苔族・苔女の伝承 —森の中の奇妙な「こびと」—	植 朗子
ロシアフォークロアに現れる不幸の形象リーホ —ATU—三七型説話の分析を通して—	中堀 正洋
研究活動記録	